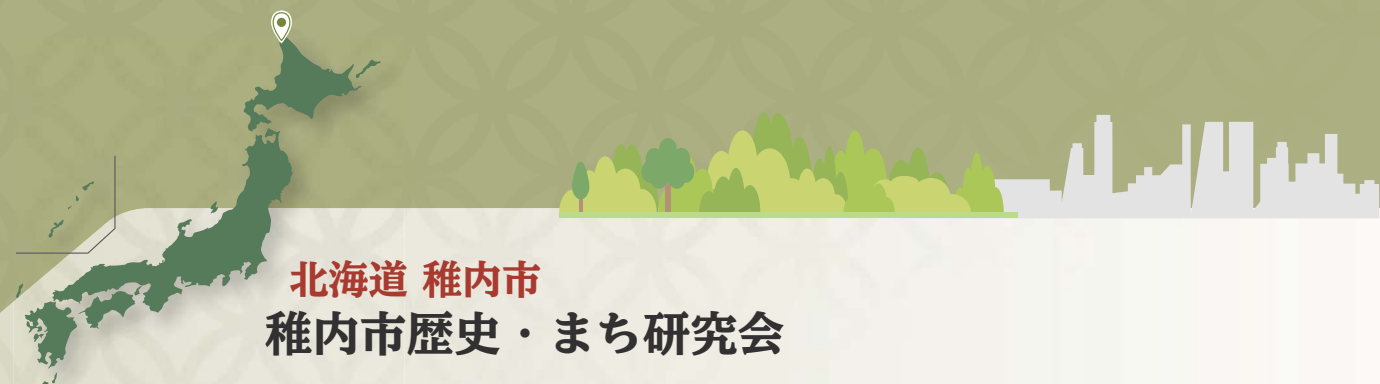


古き良きものを守る ～国境の街 稚内の歴史的建造物の保存とまちづくり～



北海道 稚内市
稚内市歴史・まち研究会

手づくり郷土賞
について

グランプリ
2017

講
評

大賞部門

一般部門

資料編

1 社会資本の概要

稚内は宗谷海峡を挟んでロシアと国境を接していることから、江戸時代以降、今日まで警備の要衝であることと同時に、樺太（サハリン）との交流・交易の拠点として位置付けられてきました。そのため江戸時代に国境警備のために駐屯した津軽藩や会津藩士の墓や史跡、戦時中に建造された軍事施設や、

探検家間宮林蔵の渡樺の地、稚内港北防波堤ドームのような樺太との人・モノの交流のための建造物や史跡が宗谷湾岸の国道40号から238号沿線に点在しています。現存するこれらの建造物や史跡を探访することにより、それぞれの時代の稚内の役割や歴史を体感することができます。



歴史的建造物群の一つ旧海軍大湊通信隊幕別送信所



世界的にも珍しいデザインの稚内港北防波堤ドーム

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

樺太との交易で栄えた稚内の栄華を伝える建造物が、次々と解体されていくことに危機感を持った有志が、「古き良きものを守る」という意識のもと、現存する歴史的建造物を保存し、この街の歴史文化の広報活動等を行い、活力ある地域づくりを目的に設立されました。

歴史的建造物の保存活動のほか、自分たちが独自に調査・研究を進めることで講演会・見学会・市民講座等の内容を充実させ、市民に地域の歴史を知っ

て興味を持ち、郷土愛を育んでもらえるような活動を行っています。

気軽に参加できるイベントも開催し、子どもから大人まで参加してくれています。

また、調査・研究結果を基にしたガイドブックには載らないような裏話を含めた独自のストーリーが財産となって、各施設のガイドとしての要望も徐々に高まっています。



たくさんの方が講座に参加しています



建造物周辺に桜を植樹



平和を祈念して灯籠を点灯

3 活動の成果や波及効果等

当会が保存活動を行うことによって、解体を免れた歴史的建造物が市内に数力所あります。修復活動にも携わり、その後一般公開され、多くの観光客が訪れるスポットになり、歴史を後生につないでいます。

建造物を修復する過程では、現代の建物ではあまり使われなくなった伝統的な職人の技をベテラン技術者から若手技術者に伝えられる場面も多々あり、技術の継承と技術者の育成にもつながっています。

修復中



ボランティアの技術者が技術を継承中

修復後



伝統の技「菱葺き」屋根修復完成です

所在地

北海道稚内市末広5丁目5番6号

活動主体及び連絡先

稚内市歴史・まち研究会
(0162-33-2220 株式会社 富田組内)

対象となる社会資本

宗谷湾沿岸歴史的建造物群（稚内港北防波堤ドームほか）
※管理者：北海道開発局稚内開発建設部・稚内市



喜びの声



受賞者

稚内市歴史・まち研究会
会長 富田 伸司

コメント

宗谷海峡（ラ・ペルーズ海峡）を挟んでロシアと国境を接している稚内には、当時をしのぶ建造物や史跡が多数現存しています。このたびは、当会の地道な活動を評価いただき大変光栄に思っております。今後は、調査教育に根差したこれまでの保存活動に加え、観光資源としての魅力を発揮できるよう、活動を継続していきたいと思っております。

活動内容

歴史的建造物の調査、研究、保存活動 など

活動の経緯

平成18年度 設立（平成17年活動開始）
平成20年 みどり香るまちづくり企画
コンテスト受賞（環境省）
平成22年 プロジェクト未来遺産受賞
（日本ユネスコ協会連盟）

手づくり郷土賞
について

グランプリ
2017

講
評

大賞部門

一般部門

資料編